荻島地区地域支え合い会議

vol.4
2021.12

NEWS LETTER

移動販売が実現「スマホの活用」が新たなテーマに

移動スーパーの運行がスタートし、地区内に貴重な地域資源が誕生しました。訪問数に限りがあり、まだまだ買い物支援の取り組みが必要な状況ですが、会議の目標を1つ達成することができました。

今後は新たな目標の一つとして「スマホの活用」をテーマに様々な可能性を議論していきます。

会議レポート

第4回（令和3年4月28日）

新型コロナウイルスの影響で屋内での集会が制限される中、会議形式を控えて移動販売の見学会を開催しました。

新田自治会館前で停車する移動スーパーとくし丸

地区内に約２０か所の停車場があります

様々な商品が積み込まれた車両に、参加メンバーからは「思っていたより品揃えが充実している」「うちの近所にも来て欲しい」など、歓迎する声が挙がりました。

第5回（7月28日）

第５回会議では次なる目標の設定に向けた協議を行い、コロナ後の「居場所づくり」の取り組みに加え、昨今のコロナワクチン接種予約に不便を感じた点やスマホを活用して買い物や見守りができる点を背景に、高齢者の「スマホの活用」をテーマに協議を進めていくことを決定しました。

ワクチン接種予約を代行した事例など、デジタル化に困惑している地域の現状が語られました

当日の会場となった「みずべのアトリエ（南荻島出津自治会館Ⅱ）」は、誰もが気軽にふらっと立ち寄れる集会所をコンセプトに週２回開放日を設けるなど、様々なイベントを開催しています。

議論を深めるとともに今後の「居場所づくり」のヒントになる取り組みに触れることができました。

第6回（10月26日）

「スマホの活用」をテーマに会議メンバーのスマホの活用状況に関するグループワークを行いました。

電話やメールなど基本的な機能を活用する一方で、電子マネーやＳＮＳへの抵抗感という点も話題となりました。

スマホ活用のポイントに、「必要性」や「楽しさ」という言葉が挙がり、今後の展開のキーワードとなりそうです。

【スマホ利用状況確認のワーク】「電話やメール機能だけ利用している」という意見も少なくありませんでした。

【今後のスケジュール】
次回会議の開催

日時 令和４年２月１日（火）
午後２時～４時
会場 荻島地区センター学習室Ａ
内容 模擬スマホ入門講座
講師 ソフトバンク
○携帯電話ショップのスマホ入門講座を体験します。
当日は講師が用意する端末【iPhone】を使用します。

【編集後記】

会議をきっかけに「スマホを勉強するようになった」という声がありました。新たなことに取り組むのはとても勇気がいることです。その一方で、押し寄せるデジタル化の波には、地域でも「できること」に取り組まなければならないのかもしれません。

今後も会議をきっかけに皆さんに新しい体験を提供できると良いなと思っています。「興味がある」と思われた方は、是非、お声がけください。

☎ 966-3411（社協 染谷）